

事業所名	児童発達支援事業 星とたんぼぼ 児童発達支援事業 星とたんぼぼいっぽずつ 支援プログラム	作成日	令和6年7月24日
法人（事業所）理念	子どもの強みを活かし、苦手なことには環境を整え、一緒に取り組む。「豊かに、なりたい自分になる」を応援する		
支援方針	1) 子どもへの個別支援 2) 家庭、園等との、縦、横の連携 3) 正しい理解を広める		
営業時間	8時半 ～ 17時半	送迎実施の有無	無
支援内容（5領域）	※別紙（2枚目に記載）		
家族支援	1) 毎回15分の報告、共有 2) 予約をとった相談（適宜） 3) 親の会の開催（年3回） 4) 専門家によるアドバイス		
プログラム	1) 個別支援 5領域に基づく全てのものを、観察評価により、家庭と相談の上「めばえ」から実行して、達成に導く 2) 集 い 個別や先生と一対一で経験した遊びを、小集団の中でする。 ・順番、交代を知り、守って遊ぶ（社会性） ・順番ボードやスケジュールなど必要な準備のある中で、落ち着いて参加する。（行動、社会性） ・絵本や紙芝居の内容が分かり、小集団の中で落ち着いて聞く。（言語、行動、社会性） ・手遊びなど、先生や友達の模倣をする。人間関係、社会性） ・協力、役割分担をして遊ぶ。（人間関係、社会性） ・色々なゲームをする。（人間関係、社会性、コミュニケーション） ・振り返りをする（認知、コミュニケーション） 3) 運 動 体を思い切り使って遊ぶ ・体を思い切り動かす。（運動、感覚） ・登る、跳ぶ、這う、飛び降りる、くぐる、渡る、等体の色々な部位を使って運動する。（運動、感覚） ・音楽に合わせて、体を動かす。体操をする。（運動、感覚） ・振り返りをする（認知、コミュニケーション） 4) おやつ 手洗い、うがい、準備の仕方を身につけ、友だちと一緒ににおやつを食べる。 ・手洗い、準備、片付け、うがいの方法を知り、実践する。（生活） ・当番の中で、友だちのオーダーを聞き、配る。（生活、言語、コミュニケーション） ・当番が机を拭き、あいさつをする。食器を洗って片付ける、台拭きを洗う。（生活、言語） ・友達と一緒に食べる。（コミュニケーション、人間関係、社会性） 5) 避難訓練 正しい避難の方法を身につける ・支援者の指示に従い、安全な方法を知り、実践する。（健康、生活） ・くりかえし練習する事により、正しい避難の方法を理解し、実践する。または、嫌がらずに指示に従う。 （健康、生活） 6) クッキング 一人一人に合った手順書で、クッキングをして「できた」「おいしい」を経験し「食」に対する関心を高める。 ・支援者を見ながら、必要な物を準備する。（認知、行動） ・支援者を見ながら、身支度をする。（健康、生活、認知、行動） ・手順書を見ながら作る。（健康、生活、運動、感覚、認知、行動） ・わからない所は、ヘルプを出して教えてもらう。（人間関係、社会性、行動）		
移行支援	1) 就学に向けて説明 2) サポートブック作成に向けての特性理解DVD視聴 3) サポートブック作成 4) 必要に応じて学校見学、連携		
職員の質の向上	1) コンサル（年3回） 2) 療育実践勉強会（年10回） 3) PEP勉強会 4) 療育実践研修（年1回）		